

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年11月14日
東

上場会社名 株式会社リベルタ 上場取引所
コード番号 4935 URL <https://liberta-j.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 透
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 二田 俊作 (TEL) 03-5489-7661
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	6,715	8.5	△97	—	△161	—	△189	—
2024年12月期第3四半期	6,191	24.8	△24	—	△43	—	△70	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △190百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 △70百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△31.68	—
2024年12月期第3四半期	△11.81	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 2024年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純損失を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	6,898	1,357	19.6
2024年12月期	6,436	1,572	24.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,352百万円 2024年12月期 1,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,000	27.4	345	379.6	300	488.6	161	－	26.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有
新規 1社（社名） 株式会社粧和 、除外 1社（社名） V I V A ネットワーク株式会社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	6,052,520株	2024年12月期	6,020,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	27,704株	2024年12月期	41,981株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	5,992,839株	2024年12月期 3 Q	5,966,779株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は 監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2025年11月14日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の拡大などを背景に、内需を中心として緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価高に伴う実質賃金の伸び悩みにより個人消費は停滞感がみられ、原材料価格の高止まりや円安によるコスト上昇、米国の通商政策の不確実性など、国内外の景気をめぐる先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは「喜びを企画して世の中を面白くする」という経営理念のもと、機動的かつ柔軟に市場の変化に対応し、企画開発やプロモーション、販売、顧客リレーション活動に取り組んでまいりました。また、2025年8月8日に開示いたしました、「債権の取立不能または取立遅延のおそれによる貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）の計上に関するお知らせ」にて公表した通り、第2四半期連結会計期間において一過性の特殊要因として貸倒引当金繰入額を計上（以下、一過性の特殊要因という。）したため販売費及び一般管理費が大幅に増加し、営業利益以下の指標に大きな影響が出ております。

この結果、機能衣料では、汗と風で驚きの冷感が持続する冷感ウェアブランドの「FREEZE TECH」は、国内取扱店舗数の目標達成など計画以上にBtoB販路への展開が大幅に増加したほか、スポーツ量販店と新規ゴルフ流通での販売好調に加え、自動車ディーラーや製造工場への新規導入などで大幅に増収となり、機能衣料商品売上高は750,759千円（前年同期比63.8%増）となりました。

トイレタリーについては、「FREEZE TECH」の「衣類用冷感ミスト」は、ホームセンター流通を中心に戦略的な強化を実施したことや、ゴルフ場への販路拡大などで大幅増収となりました。新商品の風呂釜クリーナーブランド「ヘドロトルネード」は、2025年4月の発売開始以降、ホームセンターを中心に想定を大幅に上回る売上となり純増となりました。竜巻洗浄発泡パワーの洗濯槽クリーナーブランド「カビトルネード」は、大手ホームセンターで実物洗濯槽を活用した店頭プロモーションに加え、藤本美貴氏をアンバサダーに起用した大々的なプロモーションの実施などにより増収となりました。昨年10月に発売したフレグランスブランド「MELLOW CHARM（メロウチャーム）」（『ドン・キホーテ』専売商品）は、新商品の発売等により販売が好調に推移し、売上が純増となりました。また、「さよならダニー」も拡販が進み、トイレタリー商品売上高は1,415,684千円（前年同期比29.4%増）となりました。

コスメカテゴリーについては、“目覚めてすぐキスできる”オーラルケアブランド「デンティス」が、昨年実施したSnow Man・渡辺翔太氏を起用した大型プロモーションにより導入店舗数が拡大し、初回導入による売上が伸長したものの、今年はその反動減が見られました。一方、新感覚の暑さ対策ブランド「クーリスト」は、コンビニエンスストアへの販路拡大及びSNSプロモーションの実施に加え、例年より気温の高い期間が長く続いたこともプラス要因となり、EC販売も含め全体的に販売が好調に推移し増収となりました。フットケアブランド「ベビーフット」は、国内販路において新企画品の店舗導入が順調に進んだほか、北米を中心とした海外販路においても販売が好調に推移し、売上が純増となりました。また、ドン・キホーテ向けの口腔ケア商品「ティースマスター」がインバウンド需要の高まりを受け売上が伸長、同じくドン・キホーテ向けのクール商品「アイスラッシュ」も香港や台湾での販売が好調に推移したことにより増収となり、コスメ商品売上高は2,961,120千円（前年同期比2.1%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,715,059千円（前年同期比8.5%増）、一過性の特殊要因によって販売費及び一般管理費が大幅に増加したため、営業損失97,961千円（前年同期は営業損失24,226千円）、経常損失161,465千円（前年同期は経常損失43,311千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失189,871千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失70,448千円）となりました。

ジャンル別の売上高の状況は、次のとおりであります。

(単位：千円)

ジャンル	2024年12月期第3四半期	2025年12月期第3四半期	増減率
コスメ	2,898,873	2,961,120	2.1%
トイレタリー	1,094,136	1,415,684	29.4%
機能衣料	458,415	750,759	63.8%
浄水器・医療機器	643,833	629,242	△2.3%
生活雑貨・家電他	1,255,763	1,160,256	△7.6%
リベート等控除額	△ 159,391	△ 202,004	-
合計	6,191,631	6,715,059	8.5%

(注) 各ジャンルの売上高はリベート等控除前の金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ462,312千円増加し、6,898,934千円となりました。これは主として、期中に売掛金の回収が順調に進んだことにより受取手形及び売掛金が548,311千円減少した一方で、冬物商戦に備えた仕入により商品及び製品が829,436千円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ676,750千円増加し、5,541,313千円となりました。これは主として、新規借入により短期借入金が150,000千円増加したことに加え、冬物商戦に備えた仕入により支払手形及び買掛金が520,980千円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ214,438千円減少し、1,357,620千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払により、利益剰余金が242,268千円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月8日に開示いたしました、「債権の取立不能または取立遅延のおそれによる貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）の計上に関するお知らせ」にて公表した通り、一過性の特殊要因として貸倒引当金繰入額を計上したため、当第3四半期連結累計期間における営業利益以下の指標は、大幅に減少しております。

上記一過性の特殊要因を踏まえ、第4四半期においては、主要ブランドにおける販売拡大施策を計画しております。具体的には、「さよならダニー」のリニューアル品、リカバリーウェア新ブランド「REENERGY」の販売拡大、「ヘドロトルネード」の年末商戦期に向けたプロモーション強化、「デンティス」の大型会員制小売店への計画通りの配荷等を推進いたします。このため、現段階では2025年2月14日に公表いたしました通期連結業績予想及び配当予想の数値に変更はありません。引続き業績見通しの精査を行い、開示すべき事項が判明した場合、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,005,452	1,315,392
受取手形及び売掛金	1,804,806	1,256,495
商品及び製品	1,685,698	2,515,135
原材料及び貯蔵品	138,858	136,008
その他	265,749	342,008
貸倒引当金	△96,833	△249,263
流動資産合計	4,803,732	5,315,776
固定資産		
有形固定資産	681,464	707,315
無形固定資産		
のれん	477,876	440,765
その他	310,919	276,992
無形固定資産合計	788,795	717,758
投資その他の資産	162,629	158,084
固定資産合計	1,632,889	1,583,158
資産合計	6,436,622	6,898,934

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	551,583	1,072,563
短期借入金	1,850,000	2,000,000
1年内償還予定の社債	30,000	-
1年内返済予定の長期借入金	470,832	816,677
未払法人税等	126,776	26,491
その他	553,097	582,845
流動負債合計	3,582,289	4,498,578
固定負債		
長期末払金	66,883	63,083
長期借入金	1,091,020	846,640
リース債務	-	3,442
製品保証引当金	7,700	6,500
退職給付に係る負債	79,036	84,035
資産除去債務	37,634	39,034
固定負債合計	1,282,273	1,042,735
負債合計	4,864,563	5,541,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	207,789	215,601
資本剰余金	392,300	408,628
利益剰余金	978,169	735,900
自己株式	△17,167	△11,369
株主資本合計	1,561,091	1,348,761
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,534	3,250
その他の包括利益累計額合計	3,534	3,250
新株予約権	7,433	5,609
純資産合計	1,572,058	1,357,620
負債純資産合計	6,436,622	6,898,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,191,631	6,715,059
売上原価	3,862,177	3,992,795
売上総利益	2,329,454	2,722,264
販売費及び一般管理費	2,353,680	2,820,225
営業損失(△)	△24,226	△97,961
営業外収益		
受取利息	213	665
為替差益	2,241	-
業務受託料	4,000	-
その他	3,293	3,488
営業外収益合計	9,748	4,154
営業外費用		
支払利息	21,177	32,235
支払保証料	6,156	6,302
為替差損	-	27,131
その他	1,499	1,989
営業外費用合計	28,833	67,659
経常損失(△)	△43,311	△161,465
特別損失		
固定資産除却損	-	1,068
店舗閉鎖損失	-	6,068
特別損失合計	-	7,137
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,311	△168,603
法人税、住民税及び事業税	81,285	54,354
法人税等調整額	△54,249	△33,085
法人税等合計	27,035	21,268
四半期純損失(△)	△70,346	△189,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,448	△189,871

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△70,346	△189,871
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△250	△284
その他の包括利益合計	△250	△284
四半期包括利益	△70,596	△190,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,698	△190,156
非支配株主に係る四半期包括利益	101	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用) 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	60,306千円	78,296千円
のれんの償却額	69,072 "	75,928 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは各種オリジナル商品等の企画販売を行う事業の単一セグメントのためセグメント情報の記載を省略しております。